

○本表では、5・6・10・11月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。（「学習月」欄の「■」のところです。）
○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
4月	どうとくで がくしゅうする こと どうとくでは こんな まなびかたを するよ	適時	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		* 友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 * 友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。	－
4月 ②	1 がっこう だいすき 「がっこうは たのしいね」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	一緒に生活をするみんなが笑顔で過ごせるようにするために自分ができることを考えることをとおして、学校生活を送るうえで大切なことに気づき、よりよい学校生活や集団生活を送ろうとする心情を育てる。	1. 学校生活について考える。 ○学校でどんなことをしているときが楽しいですか。 2. 『がっこう だいすき』を見て、学校生活で大切にすることは何かを考える。 ○絵の中の子どもたちは、それぞれどんな気持ちで過ごしているでしょうか。 ★みんながにこにこ顔で過ごせているのはどうしてでしょう。 3. 学校生活で大切にすることについて、自分のこととして考える。 ○みんながにこにこ顔で過ごしていくために、大切なことはなんでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを発表しましょう。	【多面的・多角的に考える】 * よりよい学校生活を送ることのよさに気づき、よりよい学校生活や集団生活を送るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 学校生活や友達のよさを理解し、学校や集団生活を送るために必要なことについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活、学級活動
	2 あいさつの ことば 「あいさつを しょう」 【B 礼儀】	1	挨拶をする際、相手にどのような言葉をかけたり、どのような態度で接したりすればよいか考えることをとおして、言い方や態度によって挨拶の伝わり方が違うことに気づき、言った側も言われた側も気持ちのよい挨拶をすすんでしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 挨拶について考える。 ○いつも、どのような挨拶をしていますか。 2. 『あいさつの ことば』を見て、挨拶をする理由について考える。 ○どうして挨拶をするのでしょうか。それぞれの場面で考えてみましょう。 ★どのような言い方や態度で挨拶をすると、自分の気持ちが伝わる挨拶になるでしょうか。 3. 今後の挨拶について、自分のこととして考える。 ○あなたは、これからどんなことを心がけて挨拶をしていきますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを発表しましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 挨拶をすることの大切さに気づき、お互いに気持ちのよい挨拶をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 相手や場面に合わせた挨拶をすることの大切さを理解し、それぞれの場面でのふるまい方について、自分との関わりで考えることができているか。	生活、学級活動、挨拶運動
5月 ③ ■	3 きもちの よい せいかつ 「きもちよく くらす」 【A 節度、節制】	1	自分の一日について考えることをとおして、毎日気持ちのよい生活を送るためには、時間を守ったり、身のまわりを整えたりすることが大切であることに気づき、すすんで規則正しい生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の一日の生活について考える。 ○あなたは、教科書の子どものように気持ちのよい生活を送れていますか。自分の一日を振り返ってみましょう。 2. 『きもちの よい せいかつ』を見て、気持ちのよい生活について考える。 ○もし、これらのことをしなかったら、どうなるでしょう。 ★きちんとした生活を送ると、どんないいことがあるでしょうか。 3. 気持ちのよい生活を送ることの大切さについて、自分のこととして考える。 ○気持ちのよい生活を送るために、あなたが気をつけていきたいことは何ですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを発表しましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 時間を守ることや、身のまわりを整理・整頓することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 基本的な生活習慣を身につけることで快適な毎日が過ごせることに気づき、これからの生活について、自分との関わりで考えることができているか。	生活
	4 なかなおり 「ともだちと なかよく」 【B 友情、信頼】	1	友達とのやりとりを体験的に学ぶことをとおして、素直に謝ることの大切さに気づき、友達とよりよい人間関係を築こうとする判断力を育てる。	1. 友達と仲直りするときについて考える。 ○謝るときに大切なことはどんなことでしょうか。 2. 『なかなおり』を読んで、友達と仲直りするためにはどうすればよいかについて考える。 ○「ぼく」になって、謝ってみましょう。 ○「ぼく」になって、もう一度謝ってみましょう。 3. 友達と仲直りすることの大切さについて確かめる。 ★友達と仲よくするためには、どのようなことに気をつけたらいいのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さに気づき、どうしたら友達と仲よくすることができるかについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 相手の立場や状況を踏まえて素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さを理解し、友達と仲よくすることについて、自分との関わりで考えることができているか	学級活動

学 習 月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
6 月 ④ ■	5 これって いいのかな 「きまりを まもる」 【C 規則の尊重】	1	約束やきまりを守ることについて考えることをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、約束やきまりを守って生活していこうとする判断力を育てる。	1. きまりを守ることについて考える。 ○学校や地域には、どんな約束やきまりがありますか。 2. 『これって いいのかな』を見て、約束やきまりについて考える。 [かんがえよう] ○約束やきまりを守っている人、守っていない人はどこにいますか。それを見て、どう思いますか。 ★約束やきまりは、どうしてあるのでしょうか。 3. 約束やきまりについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○あなたは、約束やきまりを守れていますか。それは、どのような約束やきまりですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○約束やきまりを守ることについてどう思いましたか。	【多面的・多角的に考える】 ＊約束やきまりを守ることの大切さに気づき、約束やきまりを守り、みんなが使う場所や物を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊約束やきまりを守ることについて考えることをとおして、約束やきまりを守って生活することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活、学級活動
	6 かぼちゃの つる 「わがママを しないで」 【A 節度、節制】	1	かぼちゃがしたことについて考えることをとおして、わがママや自分勝手な行動をしないで、よく考え、節度ある生活を送ろうとする判断力を育てる。	1. つるを伸ばしたかぼちゃのことを考える。 ○つるを伸ばしたかぼちゃはどうなっていくのでしょうか。 2. 『かぼちゃの つる』を読んで、わがママや自分勝手な行動をしないことの大切さについて考える。 [かんがえよう] ○みんなが言っていることを聞かずに、かぼちゃがつるを伸ばし続けたのは、どうしてでしょう。 ★どうすればよかったか、かぼちゃに教えてあげましょう。 3. わがママや自分勝手な行動をしないことの大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○かぼちゃからどのようなことを学びましたか。みんなで話し合いましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊自分の周囲の人も快適な気持ちにするための行動や考えをもととする気持ちを高め、わがママをしないためにはどのようにすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊わがママや自分勝手な行動をせずに節度ある生活を送ることの大切さを理解し、自分の生活を振り返ったり、見つめたりするなど、自分との関わりで考えることができているか。	生活
	7 ハッピーチェンジ 「よい ところに きづく」 【A 個性の伸長】	1	友達のよいところについて考えることをとおして、よいところを見つけることの大切さに気づき、すすんで友達のよいところを見つけようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 同じコップを見ても受け取り方が違うことについて考える。 ○コップを見て、気づいたことはありますか。 2. 『ハッピーチェンジ』を読んで、友達のよいところを見つけることのよさについて考える。 [かんがえよう] ○三人には、どのようなよいところがありましたか。 ★「ハッピーチェンジ」をすると、どのようなよいことがあるのでしょうか。 3. 「ハッピーチェンジ」を自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○「ハッピーチェンジ」をしてみて、新しく気づけたよいところはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを発表しましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊友達のよいところを見つけることのよさに気づき、友達や自分のよいところについて、多面的・多角的に考えることができているか。〔 【自分のこととして考える】 ＊友達や自分のよいところを見つけ、それを大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
7 月 ②	8 おふろばそうじ 「じぶんで きめた ことを やる」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	お風呂場掃除に対するあきらの姿勢について考えることをとおして、自分のやるべき仕事や勉強などに気づき、それらをすすんで行おうとする判断力を育てる。	1. 自分のやるべき仕事について考える。 ○みなさんは、学校やおうちで、どんな仕事をしていますか。 2. 『おふろばそうじ』を読んで、自分でやるべき仕事をすることのよさについて考える。 [かんがえよう] ○お風呂場掃除を褒められたとき、あきらはどのような気持ちだったのでしょうか。 ★どうしてあきらは、お風呂場掃除を続けられるのでしょうか。 3. 自分のやるべき仕事をすることの大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○これから自分の仕事をどのような気持ちでやっていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊自分のやるべき仕事の大切さに気づき、自分で決めたことをしっかりと行うためにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊自分のやるべき仕事や勉強の大切さを理解し、どうすれば自分で決めたことを行い、続けていけるかについて、自分との関わりで考えることができていますか。	生活、学級活動、当番活動
	9 おじいちゃん だいすき 「だいすきな かぞく」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	まひろとおじいちゃんの心の交流について考えることをとおして、家族の大切さに気づき、家族のためにすすんで役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族について考える。 ○おうちの人は、みんなのためにどんなことをしてくれているでしょう。 2. 『おじいちゃん だいすき』を読んで、家族の大切さについて考える。 [かんがえよう] ○まひろは、どのような気持ちで手紙を書いたのでしょうか。 ★おじいちゃんに会えたとき、まひろはどのような気持ちだったでしょう。 3. 家族の大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○家族のためにがんばりたいことを考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊家族とのつながりや家族のよさに気づき、家族を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊家族を大事にすることの大切さを理解し、家族のためにすすんで役に立とうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語、生活

学 習 月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
9 月 ③	ユニット:じょうほうと むきあう					
	10 くまさんの おちゃかい 「すなおな ころで」 【A 正直、誠実】	1	さるさんの行動について考えることをとおして、うそやごまかしをせず、素直に謝ることの大切さに気づき、うそやごまかしのない明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. さるさんの行動について考える。 ○さるさんは、どうするのでしょうか。 2. 『くまさんの おちゃかい』を読んで、ごまかしをせず素直に謝ることの大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○紙いっぱいに絵を描いたとき、さるさんはどのような気持ちだったのでしょうか。 ★下を向いたさるさんは、どのようなことを思いましたか。 【やってみよう】 ○くまさん、きつねさん、さるさんの役になって、最後の場面を三人で演じてみましょう。 3. 素直に謝ることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○さるさんに、どのようなことを伝えたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊うそやごまかしをしないことのよさに気づき、うそやごまかしをしないためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊うそやごまかしをせず素直に謝ることのよさを理解し、うそやごまかしのない明るい生活をしていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。	図画工作、情報モラル教育
	〈コラム〉 よく たしかめてから つたえよう	—	『くまさんの おちゃかい』で学習したことを踏まえて、情報を正しく伝えることの大切さについて気づかせる。			
	11 にちようびの できごと 「れいぎを たいせつに」 【B 礼儀】	1	友達の行動について考えることをとおして、礼儀正しくすることの大切さに気づき、礼儀正しくしようとする判断力を育てる。	1. 礼儀について考える。 ○友達の家へ行ったとき、気をつけていることはありますか。 2. 『にちようびの できごと』を読んで、礼儀正しくすることの大切さについて考える。 【もんだいを みつける】 ○友達の行動で、気になったところはありませんか。 ○気になったのは、どうしてですか。 【かいけつほうほうを かんがえる】 ○友達はどうすればよかったのでしょうか。 【はなしあって かんがえる】 ○みんなで話し合って気づいたことはなんですか。 【かんがえた ことを いかす】 ○あなたは友達の家へ行ったとき、どのようなことを大切にしたいですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊礼儀正しくすることの大切さに気づき、礼儀正しくするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊気持ちのよい挨拶、言葉づかい、動作によってお互いが気持ちよく生活できることに気づき、礼儀を大切に生活した生活を心がけることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活
10 月 ④ ■	12 すてきな きょうしつ 「みんなと たのしく」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	楽しい学校生活について考えることをとおして、友達のよさに気づき、みんなとともに楽しい学校生活を送っていこうとする心情を育てる。	1. 楽しい学校生活について考える。 ○楽しい学校生活にするために、何ができるでしょう。 2. 『すてきな きょうしつ』を読んで、楽しい学校生活を送ることのよさについて考える。 【かんがえよう】 ○「すてきな きょうしつ」とは、どのような教室でしょう。 ★みんなが喜んでくれたとき、「わたし」はどのようなことを考えたのでしょうか。 3. 楽しい学校生活を送ることのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○学校で楽しく過ごすために、どのようなことができるでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊楽しい学校生活を送ることのよさに気づき、楽しい学校生活を送るためにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊友達とともに楽しい学校生活を送ることの大切さを理解し、みんなと楽しくすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
	13 二わの ことり 「ともだちの ために」 【B 友情、信頼】	1	友達について考えることをとおして、友達を思うことの大切さに気づき、友達を大切にしていこうとする心情を育てる。	1. 友達について考える。 ○友達といて楽しかったのは、どんなことでしょう。 2. 『二わの ことり』を読んで、友達の大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○みそさざいは、どうしてうぐいすのうちから抜け出して、やまがらのうちへ向かったのでしょうか。 ★喜ぶやまがらを見て、みそさざいはどのような気持ちになったのでしょうか。 3. 友達を大切にすることについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○友達がいてよかったなと思ったり、うれしいなと思ったりしたことはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○これから、友達とどのように生活していきたいですか。	【多面的・多角的に考える】 ＊友達のことを思うことの大切さに気づき、友達のためにできることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊友達のことを思って行動することの大切さを理解し、友達を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語

学 習 月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	14 なんて いったのかな？ 「よいと おもう ことを すすんで」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	いろいろな場面における言動を考えたり、やってみたりと、体験的に学ぶことをとおして、どのような行動をすべきか考え、よいと思うことをすすんで行い、友達に対してもはたらきかけようとする判断力を育てる。	1.『なんて いったのかな？』を読んで、よいと思う行動について考える。 ○なんて言ったのでしょうか。想像してみましょう。 2. よいと思う行動をすることの大切さについて考える。 ○まゆさんと女の子になって、言ってみましょう。 ○さとるさんとかずゆきさんになって、言ってみましょう。 3. よいと思う行動をすることの大切さについて確かめる。 ★よいこととよくないことをきちんと区別するためには、何が大切なのでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊よいと思うことを行うことの大切さに気づき、よいと思うことをすすんで行うためにはどうすればよいかについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを行うことの大切さを理解し、よいと思うことをすすんで行い、友達に対してもはたらきかけていこうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	安全教育
	ユニット:いじめを なくす					
	15 いっしょに あそぼう 「だれとでも なかよく」 【C 公正、公平、社会正義】	1	仲間はずれについて考えることをとおして、誰とでも仲よくすることの大切さに気づき、みんなと仲よくしていこうとする心情を育てる。	1. 仲間はずれについて考える。 ○「仲間はずれ」とはどんなことでしょうか。 2. 『いっしょに あそぼう』を読んで、誰とでも仲よくすることの大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○どうして、「わたし」はびっくりしたのでしょうか。 ★「わたし」は、どうすればいいと思いますか。 3. 誰とでも仲よくすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○「仲間はずれ」をしないために、大切なことはどんなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊仲間はずれをしないことの大切さに気づき、誰とでも仲よくするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊仲間はずれをしないでみんなと仲よくすることの大切さを理解し、誰とでも仲よくすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動、法教育
11 月 ④ ■	16 ダメ！ 「ゆきを だして」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	りすくんの気持ちや行動について考えることをとおして、よいと思うことは勇気をもって行うことの大切さに気づき、よいことと悪いことを区別して、すすんでよいと思うことを行おうとする実践意欲と態度を育てる。	1. よいと思う行動をすることについて考える。 ○嫌だな、やめてほしいなど思ったことはあるでしょうか。 2. 『ダメ！』を読んで、よいと思う行動をすることの大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○りすくんは、どうしてくまくに「ダメ！」と言えなかったのでしょうか。 ★りすくんが「ダメ！」とはっきり言えるようになったのは、どうしてでしょう。 3. よいと思う行動をすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○今まで、勇気を出してきちんと言えたことはありますか。そのとき、どのような気持ちになりましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊よいと思うことを行おうとするものの大切さに気づき、よいと思う行動をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊よいことと悪いことの区別をして、よいと思う行動をすることの大切さを理解し、勇気を出してよいと思う行動をすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語
	〈コラム〉 いじめる いじめられる	—	『いっしょに あそぼう』や『ダメ！』で学習したことを踏まえて、知らず知らずのうちにいじめにつながる行為をしてしまうこともあることに気づいたり、嫌だと思うことについては気持ちを表したりすることの大切さに気づかせる。			—
	17 たのしかった ハイキング 「しぜんの なかで」 【D 自然愛護】	1	身近な自然について考えることをとおして、自然のよさや不思議さに対する理解を深め、自然に親しみ、動植物を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 身のまわりの自然について考える。 ○自然の中で遊んだことはありますか。 2. 『たのしかった ハイキング』を読んで、自然のよさについて考える。 【かんがえよう】 ○木の幹に耳を当てたり、落ち葉の布団に入ったりしたとき、「ぼく」は、どのような気持ちだったでしょう。 ★山や川、野原など、自然のどのようなところがよいか話し合ひましょう。 3. 自然のよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○自然の中でどのような遊びをしたいと思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○身のまわりにある自然の中で、自分が好きなものを友達と伝え合ってみましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊自然のもつ不思議さや生命力などに気づき、自然に親しみ、動植物を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊自然のもつ不思議さや、自然とともに生きていることなどを理解し、自然を大切にしようとするについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活

学 習 月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	18 きいろい ベンチ 「きまりを まもって」 【C 規則の尊重】	1	たかしさんとてつおさんの行動について考えることをとおして、約束やきまりを守ることの大切さに気づき、みんなが使う物を大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. いろいろな約束やきまりについて考える。 ○約束やきまりはどうしてあるのでしょうか。 2. 『きいろい ベンチ』を読んで、きまりを守ることの大切さについて考える。 [もんだいを みつける] ○お話の中で、よくないなと思ったことはありますか。 ○どうして、そのようなことをしたのでしょうか。 [かいけつほうほうを かんがえる①] ○二人はどうすればよかったのでしょうか。 [かいけつほうほうを かんがえる②] ○ベンチの上に上がろうとしている二人に、どのように声をかけますか。 [かんがえた ことを いかす] ○みんなが気持ちよく過ごすために、大切なことはなんでしょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊約束やきまりを守ることの大切さに気づき、約束やきまりを守るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊約束やきまりを守って生活することの大切さを理解し、みんなが使う物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活、法教育
12 月 ③	19 けしごむくん 「ものを たいせつに」 【A 節度、節制】	1	けしごむの使い方を考えることをとおして、身のまわりの物を大切にすることのよさに気づき、常に大切にしていこうとする心情を育てる。	1. 自分が持っている消しごむについて考える。 ○みんなは、どんな消しごむを持っているでしょう。 2. 『けしごむくん』を読んで、物を大切にすることについて考える。 [かんがえよう] ○うさぎのけしごむや白いけしごむの作文を聞いて、どのように思いましたか。 ★どうして、白いけしごむは、おじいちゃんのけしごむになって幸せだったのでしょうか。 3. 自分の使っている物を大切にすることについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○みなさんの持っている物が、幸せな気持ちで卒業できるようにするために、どのようなことができるでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊物を大切にすることのよさに気づき、物を大切に使うとはどのように使うことかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊身のまわりの物を大切にすることのよさを理解し、物を大切にするためにはどうしたらよいかについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語
	20 くりの み 「あいてを おもいやって」 【B 親切、思いやり】	1	きつねとうさぎの行動について考えることをとおして、自分だけでなく相手の立場にも気づき、思いやりをもって親切にしようとする心情を育てる。	1. 相手を思いやることについて考える。 ○他の人のことを考えて、何かをしたことはありますか。 2. 『くりの み』を読んで、相手を思いやることの大切さについて考える。 [かんがえよう] ○きつねは涙を落としながら、どのようなことを考えていたのでしょうか。 ★このあと、きつねはどうしたらいいでしょう。 3. 相手を思いやることの大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○うさぎのように、困っている人のことを考えることができますか。どのようなことができると思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊相手を思いやることの大切さに気づき、思いやりのある行動を取るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊相手を思いやって行動することの大切さを理解し、相手のことを考えて親切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語
	21 にっぽんの ぎょうじ 「でんとうや ぶんかに したしむ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	昔から伝わるいろいろな行事について考えることをとおして、日本には季節ごとにさまざまな行事があることを知り、親しみをもつとともに、わが国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。	1. 昔から伝わるいろいろな行事について考える。 ○行事には、どんなイメージがありますか。 2. 『にっぽんの ぎょうじ』を読んで、昔から伝わる行事の大切さについて考える。 [かんがえよう] ○昔から伝わる行事には、どのようなものがあるでしょう。 ★みなさんが大切にしていきたい日本や地域の行事はなんですか。それはどうしてですか。 3. 昔から伝わる行事の大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○今まで、どのような気持ちで行事に参加してきましたか。また、これからどうしていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊昔から伝わる行事のよさに気づき、さまざまな行事に対して親しみをもつとともに、日本や地域の伝統的な行事を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊国や地域に伝わる行事のよさを理解し、季節ごとのさまざまな行事を守り、親しみをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。	音楽、伝統文化教育

学 習 月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
1 月 ③	ユニット:いのちを たいせつに する					
	22 ハムスターの あかちゃん 「いのちが もつ ちから」 【D 生命の尊さ】	1	ハムスターの赤ちゃんの成長する様子について考えることをとおして、生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。	1. 身のまわりにいる動物について考える。 ○みなさんの身近に、どんな動物がいるでしょう。 2. 『ハムスターの あかちゃん』を読んで、命の大切さについて考える。 [かんがえよう] ○生まれたばかりのハムスターの赤ちゃんをどう思いますか。 ★赤ちゃんには、どのような力がつまっているのでしょうか。 3. 命の大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○あなたなら、ハムスターの赤ちゃんに、どんな言葉をかけてあげたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 [つなげよう] ○これから生き物とどのように関わっていきたいですか。	【多面的・多角的に考える】 ＊生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、生命を大切にするにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊生命のたくましさやすばらしさを理解し、かけがえのない生命を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活
	23 ひとつぼし 「よい ところに きづく」 【A 個性の伸長】	1	友達や自分のよいところについて考えることをとおして、友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。	1. 「ひとつぼし」とは何かについて考える。 ○「ひとつぼし」とは、なんのことでしょう。 2. 『ひとつぼし』を読んで、一人一人のよいところを見つける大切さについて考える。 [かんがえよう] ○ソラくんの「ひとつぼし」は、なんだったでしょう。 ★ソラくんの「ひとつぼし」の素敵なところは、どこですか。 3. 一人一人のよいところについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○みなさんの「ひとつぼし」はなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊友達や自分のよいところに気づき、自分のよいところを伸ばしていくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊友達や自分のよいところを理解し、自分のよさを伸ばしていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語、学級活動
	〈コラム〉 ひとりに ひとつの いのち	—	『ハムスターの あかちゃん』や『ひとつぼし』で学習したことを踏まえて、一人一人の命に気づき、それぞれの命を輝かせていくことの大切さに気づかせる。			—
	24 せかいの しぐさ 「せかいに めを むけて」 【C 国際理解、国際親善】	1	世界のいろいろなしぐさについて考えることをとおして、国やしぐさの違いを知ることの大切さに気づき、すすんで世界の国々を理解しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 世界の仕草について考える。 ○なんのしぐさをしているのでしょうか。 2. 『せかいの しぐさ』を読んで、世界のいろいろなことを知るよさについて考える。 [かんがえよう] ○日本のしぐさと似ているところ、違うところはどこですか。 ★ほかの国のしぐさを知ると、どんなよいことがありそうですか。 3. 世界のいろいろなことを知るよさについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○他には、どんなしぐさを覚えてみたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊世界の国々を理解することの大切さに気づき、すすんで世界の国々を知るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊世界のいろいろな国を知ることの大切さを理解し、すすんで世界のことを知ろうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動、国際理解教育
2 月 ④	25 あのね 「うそや ごまかしを しない」 【A 正直、誠実】	1	チッチの行動について考えることをとおして、うそやごまかしをせず、正直でいることの大切さに気づき、うそやごまかしのない明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. うそをついたり、ごまかしたりしないことについて考える。 ○もし、おもちゃが落ちていたら、あなたならどうしますか。 2. 『あのね』を読んで、うそをついたり、ごまかしたりしないことの大切さについて考える。 [かんがえよう] ○チッチは赤い車のことを知っているのに、どうして「知らない！」と言ってしまったのでしょうか。 ★どうしてチッチの胸は、ちくちく痛くなったのでしょうか。 3. うそをついたり、ごまかしたりしないことの大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○あなたは、ごまかしたり、うそをついたりすることはありませんか。どうしたら、いつも素直な自分でいられるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊うそやごまかしをしないことの大切さに気づき、うそやごまかしをせず正直でいるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊うそやごまかしをしないで正直でいることの大切さを理解し、うそやごまかしのない明るい心で生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語、法教育
	〈コラム〉 ◆しょうじきな ころこ		『あのね』で学習したことを踏まえて、正直でいることの大切さについて理解させる。			—

学 習 月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
3 月 ②	26 はしの うえの おおかみ 「あたたかい ところで」 【B 親切、思いやり】	1	おおかみの行動について考えることをとおして、優しい気持ちをもって、すすんで親切な行動をしようとする心情を育てる。	1. 親切にしたり、されたりした経験を想起する。 ○親切にしたり、親切にされたりすると、どんな気持ちになるでしょう。 2. 『はしの うえの おおかみ』を読んで、親切な行動をすることの大切さについて考える。 [もんだいを みつける] ○お話を読んで、いいな、よくないなと思ったのはどのようなことですか。 ○いいなと思ったのはどうしてですか。また、よくないなと思ったのはどうしてですか。 [かいけつほうほうを かんがえる] ○よくないなと思ったことについて、あなたがおおかみだったらどうしますか。 [はなしあって かんがえる] ○おおかみが、くまと同じことをしたのはどうしてでしょう。 [かんがえた ことを いかす] ○周りの人と生活するときに、大切なことはなんでしょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊温かい心で相手に接することのよさに気づき、親切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊優しい気持ちで相手に接することのよさを理解し、思いやりの心を持ち、親切に行動することについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語
	27 おとうさん ありがとう 「ありがとうの きもち」 【B 感謝】	1	仕事が忙しい中でも「わたし」の世話をしてくれるお父さんに対する気持ちを考えることをとおして、日頃お世話になっている人々を尊敬し、感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 感謝する気持ちについて考える。 ○いつもどんな人にお世話になっていますか。 2. 『おとうさん ありがとう』を読んで、感謝の気持ちをもつことの大切さについて考える。 [かんがえよう] ○お父さんが手を握っていてくれた間、「わたし」はどのような気持ちだったでしょう。 ★(おとうさん、ありがとう。)と心の中でつぶやいたとき、「わたし」はどのようなことを考えていたのでしょうか。 3. 感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○あなたは家族に「ありがとう」と思ったことはありますか。それは、どのようなときですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 [つなげよう] ○身のまわりにある「ありがとう」を見つけて、みんなで発表してみましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊感謝をする気持ちをもつことの大切さに気づき、日頃お世話になっている人々に対して感謝の気持ちを表すためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊日頃お世話になっている人々に感謝をする気持ちをもつことの大切さを理解し、感謝の気持ちをもつことについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活、社会参画教育
	28 こくばんとうばん 「みんなの やくに たつ」 【C 勤労、公共の精神】	1	「わたし」の迷う気持ちや行動について考えることをとおして、人の役に立つ仕事をするが自分の喜びにつながることに気づき、自分もすすんで働こうとする実践意欲と態度を育てる。	1. みんなの役に立つことのよさについて考える。 ○あなたはどんなことを考えて、当番をしているでしょう。 2. 『こくばんとうばん』を読んで、みんなの役に立つことのよさについて考える。 [かんがえよう] ○しんさんの誘いに迷っていた「わたし」が、断ったのはどうしてでしょう。 ★(さいしよは、あまり こくばんとうばんが すきでは なかったけれど……。)の続きの言葉を考えましょう。 [やってみよう] ○顔を見合わせてにっこりと笑ったあと、「わたし」とあおいさんはどのようなことを話すのでしょうか。「わたし」とあおいさんの役になって、やってみましょう。 3. みんなの役に立つことのよさについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○あなたは、どのようなときに、仕事に取り組んでよかったと思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊みんなのために働くことのよさに気づき、みんなのためにすすんで働こうとするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊責任をもってみんなのために働くことのよさを理解し、責任をもってすすんで働くことについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動、当番活動、キャリア教育
	〈コラム〉 ◆しごとを して みて		『こくばんとうばん』で学習したことを踏まえて、当番や係の仕事をするための大切さについて理解させる。			—
3 月 ②	29 七つの ほし 「うつくしい ところ」 【D 感動、畏敬の念】	1	自分よりも相手のことを思いやる女の子の行動などについて考えることをとおして、美しいものや清らかなもののよさに気づき、すがすがしい心をもとうとする心情を育てる。	1. 周りのことを考えて行動することについて考える。 ○自分が困っているときに、周りのことも考えられるでしょうか。 2. 『七つの ほし』を読んで、美しい心のよさについて考える。 [かんがえよう] ○女の子は、自分もつらいのに、なぜ水を飲むのを我慢したり、犬に水を飲ませたりしたのでしょうか。 ★お話の中で、美しいと感じたところはどこですか。それは、どうしてですか。 3. 美しい心のよさについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○みなさんの生活の中で、美しいと感じる行動には、どのようなものがありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊美しいものや清らかなもののよさに気づき、美しい心をもつためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊身のまわりの美しいものや清らかなものからそのよさを理解し、心の美しさについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語

学 習 月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	30 もりの ゆうびん屋さん 「はたらく よろこび」 【C 勤労、公共の精神】	1	働くくまさんの姿について考えることをとおして、心をこめた仕事が相手の喜びにつながり、相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情を育てる。	1. 当番や係の仕事をするときの気持ちについて考える。 ○当番や係の仕事をするとき、どんな気持ちで取り組んでいますか。 2. 『もりの ゆうびん屋さん』を読んで、働くことのよさについて考える。 [かんがえよう] ○くまさんの仕事の仕方で、素敵だなと思うところを見つけましょう。 ★手紙を読んだとき、くまさんはどんなことを考えたでしょう。 3. 働くことのよさについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○働くことのよさとはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊働くことのよさに気づき、すすんでみんなの役に立つにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊働くことやみんなの役に立つことのよさを理解し、みんなのためにできることについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語、キャリア教育
適 時	31 いのちの はじまり 「いのちを たいせつに」 【D 生命の尊さ】	1	おへその役割について考えることをとおして、生命の尊さや生きていることのすばらしさに気づき、受け継がれた生命を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 命について考える。 ○命は、いつから始まっているのでしょうか。 2. 『いのちの はじまり』を読んで、命の大切さについて考える。 [かんがえよう] ○お母さんは、私たちがおなかにいるとき、どのようなことを考えながら過ごしていたのでしょうか。 ★生まれる前からお母さんのおなかの中で命が始まっていたことを知って、どのようなことを考えましたか。 3. 命の大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○生まれる前から始まっている命を、これからも大切にしていくために、できることはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊生命の大切さに気づき、生命を大切にしていくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊命のつながりや生命の大切さを理解し、生命の大切さやすばらしさについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活
適 時	32 「ありがとう」の くすり 「ありがとうの きもち」 【B 感謝】	1	かとうさんの思いや、「ぼく」の心情や行動について考えることをとおして、日頃お世話になっている人の存在や、その人々が自分に寄せてくれている善意に気づき、感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	1. お世話になっている人について考える。 ○いつもお世話になっている人はいるでしょうか。 2. 『「ありがとう」の くすり』を読んで、感謝をすることのよさについて考える。 [かんがえよう] ○かとうさんは、毎朝どんな思いで見守りをしているのでしょうか。 ★「ぼく」の手紙には、どんな思いがこめられているのでしょうか。 3. 感謝をすることのよさについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○身のまわりに、かとうさんのような人はいますか。その人にどんな言葉をかけたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊感謝の気持ちを伝えることの大切さについて、日頃から世話をしてくれている人たちの気持ちを想像しながら、感謝の気持ちを表すにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊感謝の気持ちを伝えることが相手をうれしい気持ちにさせることを理解し、自分のこれからの振る舞い方や生き方について、自分との関わりで考えることができているか。	生活、社会参画教育
適 時	33 るすばん 「かぞくの ために」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	留守番をする「ぼく」の気持ちを考えることをとおして、家族の大切さに気づき、家族を大切にし、家族のためにすすんで役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族について考える。 ○家族からしてもらってうれしかったことは、どんなことですか。 2. 『るすばん』を読んで、家族のためになにかをすることについて考える。 [かんがえよう] ○留守番を引き受けたとき、「ぼく」はどのような気持ちだったでしょう。 ★帰ってきたお父さんに褒められた「ぼく」は、どのようなことを考えていたでしょう。 3. 家族のためにできることをしていくことについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○家族のために、あなたはどのようなことができますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊家族の大切さに気づき、家族のためにすすんで役に立つにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊家族とのつながりや家族の大切さを理解し、家族のためにできることについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活
適 時	34 ねんがじょう 「むかしから つたわる ぶんか」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	年賀状について考えることをとおして、昔から伝わる風習や文化のよさに気づき、これからも大切にしていこうとする心情を育てる。	1. 年賀状をやりとりした経験について考える。 ○年賀状を書いたり、もらったりしたことはありますか。 2. 『ねんがじょう』を読んで、昔から伝わる風習や文化のよさについて考える。 [かんがえよう] ○年賀状をもらうとうれしいのは、どうしてでしょう。 ★「ぼく」が、年賀状を書きたくなったのはどうしてでしょう。 3. 昔から伝わる風習や文化について確かめ、そのよさについて自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○あなたが年賀状を書くとしたら、誰に、どのような気持ちをこめて書きますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 ＊昔から伝わる年賀状の歴史を知り、日本や地域の伝統や文化、風習のよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊年賀状のよさを理解し、自分だったら誰にどんな気持ちをこめて書くかを考えるなどして、伝統や文化を大切にしていこうことについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活、伝統文化教育

学 習 月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	[しりょう] みに つけよう れいぎ・マナー	適時	礼儀正しいお辞儀の仕方やよい姿勢を知るとともに、なぜ礼儀正しくすることやよい姿勢で学習に臨むことが大切なのかについて考えることをとおして、日常生活のさまざまな場面で礼儀正しくふるまおうとしたり、姿勢を正して生活しようとしたりする実践意欲と態度を育てる。		【多面的・多角的に考える】 ＊お辞儀をする意義やお辞儀で伝わるものについて理解し、礼儀やマナーを守る大切さについて考え、礼儀やマナーを守って生活していくことについて多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊正しいお辞儀の仕方を身につけ、場面や相手に応じて実践してみたいという気持ちを高めながら、礼儀やマナーを守って生活していこうとすることについて自分との関わりで考えることができているか。	—
適時	がくしゅうを ふりかえろう	適時	学期末・学年末に道德の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。		＊心に残った話(教材)とそれを選んだ理由について、友達と互いの考えを交流し、自分の学びを振り返ることができているか。 ＊一年間の道德の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて友達と意見を交流することで、一年間の学びの自己評価ができているか。	—